

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	オーストラリア海外キャリア実習
-----	-----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	昼ごはん代1日 800~1500 円	少なくとも、8AUSドル以上はします。物価はめっちゃくちゃ高いです。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 16000 円	150G×2ヶ月分、55AUSドル、手数料5500円
現地通勤費	1日約 900 円	(研修先まで 40 分)シドニーは交通網が発達しているので、公共交通機関でシドニーは回れます。「オパールカード」という Suica みたいなカードを作ったほうが良いです。
教養娯楽費	約 20000 円	観光
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	約 10000 円	例:お土産
合計	約10万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 行きの羽田空港で両替、2万円
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
オーストラリアは基本キャッシュレス社会なので、カードで支払うのが普通です。友達と割り勘をする時以外に現金は使いませんでした。特に「キャッシュパスポート」というカードが使い勝手が良いです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
HIS からの紹介の企業で、eSIM 利用しました。紹介からの利用だと手数料がいくらか安くなる場合があります。また、海外に行ってもそのまま自分のキャリアの通信を使える場合もあったりするので、しっかりと事前に調べたほうが良いです。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
USB A、C をともに2個ずつ充電できる AUS のコンセントに対応した変換ケーブル、ティッシュ(僕のホームステイ先にはティッシュが置いていなかった)/普段履く用の靴を2足ぐらい、花粉用の薬

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: OKC)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
研修前のオリエンテーションで事務室の方から多くの危険情報や、その情報を掲載している外務省のホームページなどを紹介していただきました。そこから主にそのような情報の収集をしました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
事前にオーストラリアで使う電話番号・eSIM を使えるように準備していたので、特に問題は起きませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☐ バス	☐ トイレ	☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)		
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
ホームステイ先によって様々だと思うが、自分はとても良い家族に恵まれました。上記のように、ティッシュなど、日本では当たり前のように使っているものが、そこにはなかったりするので、必要な?と思ったものは持って行ったほうが良いです。もちろん現地調達できますが、物価が高かったりするので日本から持っていくのが良いと思います。				

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
もともと海外へ行くプログラムに参加して英語を伸ばしたいと考えており、そのプログラムを調べていくうちにこのキャリア実習を見つけました。英語はそれなりに得意だったので、英語を「学ぶ」語学研修よりも「使う」研修を希望していたので、まさに自分の探している研修だと思い、応募しました。	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
主体的に英語でたくさんの人とコミュニケーションをとること。また日本でこれまで暮らしてきて自らに根付いている「日本」での価値観や目線を、オーストラリアという異国の地、異なる文化の地で生かすとともに、その新しい文化や価値観を受容する。	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
ディベロッパー	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
建築業界	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
実習先の会社が行っているプロジェクト、品質管理のための手順、また入札について学ぶ、企業の広告用のInstagramの投稿作成	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
定時になる前から帰る準備をして定時になった瞬間帰る姿をみて、日本との違いを感じました。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
建築業界に興味を持っている僕にとって、建築に関する様々なことを知ることができたのはとても良い経験となりました。一方、実習先の担当の人はインド人の方で、英語がペラペラに話せるわけではない僕にとってインド系英語の訛りは最後まで慣れず、聞き取るのとても苦労しました。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
上記にもあるように、建築会社のプロジェクトや、そのプロジェクトを遂行するための品質管理、入札について知ることができたのはとても良い経験でした。また、企業の広告にInstagramを使用するのはどうかと、提案したところ良いねと言ってもらい、実際に僕が投稿やその投稿を作ることとなり、この実習の目標でもあった主体的に行動するということを体現できてよかったと思います。	



英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC810

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

毎日、明治大学が提携している「レアジョブ」で外国人の先生とコミュニケーションをとっていました。また受験の時に使っていた単語帳を見返すなどしていました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

必ず毎日ホームステイ先に帰ったら、その日何があったのかとか何を食べたのかとか自分でホストファミリーに話していました。そこから話が広がったりして英語を使ってコミュニケーションをとることにつながったと思います。また、インターン先でも、自分発信の会話を毎日3個以上できるように心がけていました。コミュニケーションを取ろうとする態度はおそらく相手方から見て、意欲があるように感じてもらえていたと思います。また、ホームステイ先に帰った後、その日1日を振り返って、「こういう英語の言い回しできたな」とか「こう言いたかったのに言えなかった」など感じた表現をノートに書いて、次の日から使えるように練習していました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

オーストラリアの人は基本あたたかく感じました。朝、インターン先に行く時知らないおじいさんと会うと Good Morning! といって挨拶をしたり、お店に入るとそのスタッフの人が Hello how are you? と言ってきたりなど、日本とは異なる文化をこの部分で特に感じました。またオーストラリアは多民族が集まる場所なので、色々な人種の人がありました。中国系、イタリア系、インド系、など。インターン先の上司はインド人で、インド人特有の英語の訛りとオーストラリアの英語のミックスで初めは聞き取るのに苦労しました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

大学生活の中で海外に長期間行くことを経験したいと昔から思い続けていたので今回その経験をする事ができてとても良かったと思っています。自分自身、初めは就活で役に立てばいいかなとかそんなことを思っていたのですが、終わってみれば、この経験は学生生活でしか経験できない、自分の人生においても意義のある経験だと終わってから感じています。自分の家とは違うところで1か月も、それに知らない場所で知らない人と生活するのはとても大変であり、日本いたならば、、、とネガティブに考えてしまっていたこともありましたが、この実習に参加しなければ出会わなかったような友達と予定を合わせて土日にオーストラリアを観光して楽しんだり、毎日出てくるホストマザーの作った美味しいディナーを楽しんだりなど、総じて楽しみ、インターンシップでは自分を高めることができた一か月間だったと思います。また、この実習に参加しようと思ったきっかけとして、1年生の間は特に何もすることができず、ただ大学に行き、バイトしてサークルに行くだけで、なんとなく毎日をこなして過ごしているような生活で、新しい事に挑戦してみたいという思いが芽生えたということも挙げられます。もし僕と同じように、そのような生活に煩悶としている人がいるのであれば長期休みを使って海外へ行くという事を一つの選択肢にしてみるのも良いと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	オーストラリア海外キャリア実習
-----	-----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	17000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	23000 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	30000 円	
被服費	0 円	
雑費	5000 円	
その他	0 円	例:
合計	95000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に交換
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカ払いが早くて良い
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ドコモ世界ギガ
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホームステイ先に最後に渡すレターセット

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターン先の人に危険な場所などを聞いた。 特に巻き込まれなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なし。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☐バス ☐トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

自分だけのシャワールームやトイレなど用意してもらい、心地よく1か月過ごすことができました。仕事終わりでもドライブに連れて行ってくれたり、夜までお話ししたり最高のホームステイ生活が送れました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外で働くことに興味があり、1か月インターン経験できてホームステイができるため自分に合っているプログラムだと思い申し込みました。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

英語でコミュニケーションをとり、自分でやるべきことを考えて行動できるようになること。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

カフェ

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

カフェ

2) 主要な実習内容を記載してください。

オーダーをとる
レジでお会計
コーヒーを運ぶ
洗い物
コーヒー作る

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

日本とほとんど仕事内容が変わらず、イメージ通りでした。でも日本と比べて働くことへの考え方が全然違うと感じた。仕事中に話しながら接客するなど日本よりもラフに働いているなど感じました。日本では常に礼儀正しくないといけないし、仕事も終わらないと帰れないけどオーストラリアではもっとリラックスしながら接客できるし、定時に終わらせることに重点を置いているなど感じました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

最初はコミュニケーションをとることが難しく、自分の英語のスキルがまだまだ足りていないと実感しました。しかし英語を勉強しながら生活するうちにだんだん耳が慣れてきてどんどんコミュニケーションをとることが楽しくなってきました。インターンシップで起きたことを帰ってからホストファミリーに話をしてホストファミリーとの時間も有意義に過ごせました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

英語でオーダーをとることができるようになり、もしまたワーホリとかでシドニーを訪れたらまた働けるよと言ってもらえました。またたくさんお友達を作ることができて日本に旅行に来たときはまた遊ぼうねと約束しました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC720点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英語で映画を見る、オンライン英会話

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

毎日隙間時間にフレンズを見て、そこで覚えたフレーズを日常生活で使えるようにボキャブラリーを増やしました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

多文化社会であるから電車や道を歩いてもたくさんの国の人がいて外国人であっても全く窮屈に感じませんでした。カフェ文化であるから道を歩いてもほとんどの人がコーヒーを片手に持っているなと感じました。電車が日本よりも空いていて過ごしやすかったです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

最初の1週間は現地の人とコミュニケーションをとるのが難しく、伝えたいことが伝わらず誤解が生じているのがわかって、すごくもどかしかったです。しかし、毎日英語を話すうちにどんどん理解できるようになっていき楽しくなっていました。インターン先の人と土日に出かけたり、家にお邪魔したりたくさんお友達になれてうれしかったです。最後の週にはミスすることなく仕事ができ、「もしワーキングホリデーとかでまたシドニーを訪れたらこのカフェで働きな〜！」って言うてもらえてこの研修に参加してよかったと心から思いました。ホームステイでも仕事終わりでたくさんドライブに連れて行ってもらえてこのホストファミリーに受け入れてもらえて幸せでした。英語力も成長したが、自分で何をすべきか、どうすればもっとうまくいかなどたくさん自分なりに考えて行動することができたため毎日成長できました。一生の思い出になりました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)
-----	-------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30,000 円	平日の昼食(約 500 円/日)と休日外出した際の昼食(2,000 円前後/回)
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9,000 円	eSIM 購入費
現地通学費	0 円	(研修先まで 30 分) 学校手配のスクールバスを利用した。
教養娯楽費	50,000 円	休日の交通費、施設の入場料など。有名な観光地の入場料は 5,000 円/人ほどかかる。
被服費	4,000 円	防寒着を現地で購入した。
雑費	0 円	
その他	5,000 円	例:お土産代など
合計	100,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 20,000 円事前に両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードでの支払いは、どれほど利用したか、あとどれくらい利用できるか即時にわかるため良かった。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
日本で事前に eSIM を購入して、端末に事前登録しておいた。家や職場では WiFi を利用させてもらえた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ヒーターが無い家だったため、朝晩は寒かった。防寒具は多めに持参した方が良い。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のたびレジに登録した。万が一の時に、危険情報を収集できるようにしておいた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
少し接続が遅い時があった。しかし、日常生活には全く問題なく利用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
受け入れに慣れている家庭だったため、初日に家のことやルールを教えてくれた。ホストファミリーから何も指示がないとしても、初日に全て確認しておく必要がある。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
「職業体験」という、実際に働いている人の中に入って仕事するプログラムに惹かれて応募した。実践的な英語コミュニケーション力を向上させるだけではなく、働き方の特徴、文化の違いなど様々な学びが得られるだろうと考えたから。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
日本とオーストラリアの仕事に対する考え方の相違点を見つけたり、一般的な業務の流れを理解したりして、将来どのような職に就きたいか、どのような生活をしたいか、自分の夢を定めたい。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
まだ決まってはいるないが、教育業界を一候補として考えていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
現地校(小中高)の日本語教師アシスタント
2) 主要な実習内容を記載してください。
授業中: 机間巡視して、生徒の課題に対してフィードバックやサポートをする。HSC と呼ばれる高校卒業に必要な試験で行われる日本語スピーキングテストの特訓。 授業外: 生徒が取り組んでいる作文課題のサンプル文章作成や、課題の添削。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
スタッフルームに生徒が容易に入ってくることがなく、スタッフのリフレッシュする空間が確保されていた。定時出勤・退勤が日本の学校より浸透しているだろう。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
良い意味で、暇な時間がないようたくさんの業務を用意してくれた。 日本語の学習に対してモチベーションが無い生徒をサポートするとき、どのように接すれば良いのかわからなかった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
生徒との交流や、授業の様子を見て、日本語や日本文化に興味を持っている外国人がとても多いということに気づいた。将来は、日本の文化などを発信するようなことをしたいというビジョンが見えた。 日本語を英語で説明することはとても難しかった。自分の英語スキルの中でどのように伝えるか、常に考えた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC L&R 650 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TOEIC・TOEFL など英語の試験にたくさん取り組んだ。必然的に英語学習の時間が増え、TOEIC の自己ベストを更新できた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

実習先人やホストファミリーが使っていた言葉の中で、自分にも効果的に使えそうだと思えたものは、次のコミュニケーションの場から積極的に使ってみた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

実習先にて、午前中に Recess の時間があり、私がいた語学教員のスタッフルームではみんなでコーヒーを飲んだりお菓子を食べたりしてリフレッシュしていた。各々がリフレッシュするだけでなく、プライベートの話をしたり授業や生徒のことについて軽く話し合ったりしており、教員同士で一体感があつた。デスクがある部屋とも壁で仕切られていて、休憩の時間を大切にしている習慣は日本も見習うべきではないかと考えた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修では、日本とオーストラリアの生活や労働環境の違い、人々の価値観の違いなど、たくさんの「違い」に気づく機会となった。日本人は勤勉ですばらしいと評価されることもあるが、働きすぎによる心身故障も社会問題となっている。日本流の働き方が正しいのか。この研修で、社会人の中に入り一緒に働くことで疑問に思ったことだ。未知の環境に身を置いてみることで新たな価値観を得られるということがわかった。これからは、未知のことに対して積極的に知る姿勢を大切にしたい。そこで知ったことを踏まえて、日本の良いところは世界に発信して、私たちが見習うべきことは積極的に変えていきたい。日本と世界をつなぐような仕事をしたいという夢を持つことができた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)2024 年夏季
-----	---------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 90 分)
教養娯楽費	30000 円	
被服費	0 円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
合計	100000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で換金 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
普段日本で使っているクレカが使える、デビットカードや現金よりも手数料が安いので、クレカが 1 番よかったです。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
学校おすすめの eSIM を使いました。QR から 33 日間で申し込んだのに、支払いのメールには 30 日間しかないなどの不具合があったり、人によってはオーストラリアの電話番号を送られてきた人もいたので注意が必要です。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ポケットティッシュやウェットティッシュ、マスクといった消耗品はとても役立ちました。特にオーストラリアは乾燥しているので、マスクがあるといいなと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
しおりに書いてあるものや、ワーホリ体験者の日記、現地の人に直接聞くなどして情報収集をしました。スマホが狙われることがあると聞いたので、スマホは肩からかけられるケースを利用し、肌身離さず持つようにしていました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
日本の両親と長く電話してしまった日は通信制限ですごく重たかったですが、普通に使っている分には全く問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☐ バス	☐ トイレ	☒ キッチン(	☐ 自炊可	☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
ホームステイは正直当たり外れがあるものだと思います。私はホームステイを変更しましたが、1 番目のホームステイ先での生活は本当に辛かったです。一方で 2 番目のホームステイは、ちゃんと会話をしてくれて、一緒にアクティビティを楽しんでくれて、とても幸せでした。ホームステイは、いいご家庭にあたったら本当にかけがえのない経験になりますが、一方であまり良くない家庭にあたりとストレスfulな 1 ヶ月間を過ごすことになります。ホームステイに対して期待を抱きすぎない方がいいと伝えたいです。				

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
英語に抵抗をなくす、そして今回のキャリア実習を糧に自分のキャリア形成に活かすことを目的に申し込みました。	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
英語を発することに自信を持つことです。	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
業界にこだわりはなく、職種としてはマーケティングです。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
クルー징業界で行いました。	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
顧客向けのパウチャーを印刷、封入 ギフトのラッピングや装飾	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
私のイメージとは全く異なり、マーケティング関係のことは一切やりませんでした。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
良かった点は、一緒にお仕事をする人たちの人柄がすごくいいところです。私のことをすごく気にかけてくれて、優しく接してくれました。悪かった点は、マーケティングに全く関係のないお仕事しかやらなかったことです。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
成果と言われると難しいですが、色々な経験は積めました。	

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

790 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

洋画を見るようにしていました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

積極的に話しかけるようにしました。またネイティブの発音をこんなに聞ける体験はなかなかできないと思ったので、小さなお子さんに発音の仕方を教えてもらったりしました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

オーストラリアはすごく多民族国家で、インド系の人が集まる場所やお祭りが至る所で行われていることに驚きました。また、運転も日本より荒い人が多かったです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ホームステイやインターンに期待はしない方がいいと思います。いい家庭に恵まれたり、いいインターン先に行ける人ももちろんいますが、そうでない人も私を含めたくさんいます。海外に憧れがあり、このプログラムを考えてる人はまず、1 週間程度海外旅行に行くべきだと思います。そして 1 ヶ月、半年、1 年行ってみたいと思ったら申し込んだらいいと思います。また、英語だけにこだわるのも悪くはありませんが、それよりもプログラム、そしてオーストラリア自体を楽しむことを優先した方がいいと思いました。私は最初英語にこだわって、現地で日本人の人たちと交流を持つのはちょっとと考えてしまっていたのですが、やはり日本語の方がいろいろ話すことができるし、いろんな悩みも打ち明けられるので、日本人との交流も大事にすることをおすすめします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)
-----	-------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	40000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	0 円	
雑費	15000 円	
その他	円	例:
合計	120000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発前に三菱銀行で両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金を使う機会はありません。みんなクレジットカードで支払います。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
事前研修で配布された海外携帯 ICHIBA の eSIM を利用しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スーパーで購入したとしても水の料金が高いので、水筒を持っていくべきでした。また、オーストラリアにはあまり手ごろな便箋が売っていないので、日本から持ってくるべきでした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 研修の相談窓口)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べ、防犯ブザーや、ウエストポーチを購入しました。しかし、シドニーはとても治安が良く、必要ありませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
場所によって通信速度に差はあるものの、問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

留学生を何度も受け入れている家庭だったので、とても慣れていました。料理もおいしく、とても快適でした。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外で働き、日本との働き方や考え方の違いを学びたいと思い応募しました。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

日本との働き方や考え方の違いを学びたいです。また、将来どのような場所で働きたいか、どのような業界に進みたいか少しでもイメージを持てるようにしたいです。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

不動産業界。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

不動産業界。レンタルオフィスの会社。

2) 主要な実習内容を記載してください。

できる仕事はあまりなかったです。最後の2週間は、経済関係のレポートを作成したりなどしました。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

オフィスを利用しているクライアントと友達のように話し、親しくなることを大切にしていると感じました。どんなに忙しい時でも、クライアントに話しかけている様子が印象的でした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

仲介会社とインターンシップ先が事前に適切な話し合いができていないと感じました。自分から行動しましたが、担当者が忙しすぎるあまり、仕事を与えてもらうことが困難でした。ですが、人はとても良く、とてもやさしく接してくれました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

日本と海外の働き方の共通点と違いについて学習できました。また、イメージとは違うトラブルが発生したことにより、自分の長所と短所に関しても見つめ直すことができました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC740

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

オンラインの英会話スクールを利用して勉強しました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

伝えることができなかった言葉を後で調べて、ノートにまとめました。しかし、これからもオンラインスクールなどを利用して継続的に学習を続ける必要があると感じました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

電車が日本とは異なり、とても快適でした。日本では毎日通学するために行きも帰りも満員電車に乗っていたが、オーストラリアの電車はすべて日本のグリーン車のようになっていて混雑していませんでした。

また、時間にルーズな人がとても多いと感じました。日本では、遅刻は信頼関係に反映するほど時間を守ることが大切なので、驚きました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私があまり英語を話すことができないにもかかわらず、多くの人がフレンドリーにやさしく話しかけてくれたので驚きました。自分の英語力に自信がなかったため、はじめは自分から話しかけられずにいましたが、周りの人が優しく話しかけてくれたおかげで、自分から話しに行けるようになりました。上手に伝えることができなくても、自分から話しかけ、伝えようとするのが重要だと実感しました。しかし、もっとスムーズにコミュニケーションをとれるようにしたいので、これからも勉強を続けようと思いました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)
-----	-------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	40000 円	
現地通学費	30000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	100000 円	例: 観光代・お土産代・ギフト代
合計	240000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
タッチ決済

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
au の世界データ定額サービスを利用しました。
Sim の入れ替えも必要なく、また日本の電話番号もそのまま使えたので便利でした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
持っていて良かったものは、サングラス・ウルトラライトダウン・サンダルです。
オーストラリアは日強いこと、また日中と朝晩で気温差が大きかったこと、ホームステイ先があまり清潔でなかったことから、以上三つは持っていて良かったと思います。
持っていくべきだったものは、生活用品です。
オーストラリアでも買えると思い持っていかなかったものが、現地だととても高く買う余裕がなかったことから生活に必要なものはできるだけ日本から持っていくことをお勧めします。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学会社)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
Facebook など SNS で情報収集をしていました。
また、置き引きなどには常に注意しバッグは肌身離さず持ち歩いていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)				
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
事前に申告されてなかったことがいくつかあり不安な思いをしました。 特に家族ではない成人男性が住んでいたことに関して事前申告がなく行ってから言われ驚きました。 また、ペットアレルギーではないものの数多く常に毛が床に大量に落ちていたことでアレルギーが出てしまい、快適に過ごすことが難しかったので、少しでも苦手意識があれば事前に相談しておいた方が良いと思います。 私は以上のような状況でホストチェンジを考えましたが、そのやり取りに時間を割きたくなかったため行いませんでしたが、自分が必要だと思ったら我慢せず行動することが大切だと思います。				

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
自身が海外で働く将来をポジティブに捉えられるようになりたいと思い申し込みました。	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
自分が海外というフィールドでも強みになる自身のスキルを見つけることでした。	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
インバウンド業界です。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
非営利セクターです。	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
接客・レジ業務・ドネーションの分別・商品の価格付・品出し・棚整理	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
特になかったです。 一点違った点は、自分から仕事を見つけるスタイルであったことです。 もちろん、指示をくれることもあります。ボランティアの数も多いことから全員に指示を出すことが難しく受け身だとやることがないような状況でした。 その時に、自ら課題を見つけ、それを解決するために行動する力を求められていたと思います。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
良かった点は、様々な人に出会うことができたことです。 大半の方がボランティアで来ていたので、日替わりで新しい人に出会い、沢山のお話を伺うことができたことはとても貴重な経験だったと思います。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
まず、渡航前に掲げていた目標を達成できました。 自分の相手の立場に立って考える力は海外の方と比べても深く、自身の強みであると実感できました。 また実践スキルの習得ができたと思います。 具体的には主体性・問題解決能力・コミュニケーション力がより磨かれたと思います。	

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC840 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

海外の映画を英語で見っていました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英語力向上に向け、行ったことは二つあります。

① 一人の時は podcast など英語の聞き流し

② 初めて聞いた単語などはその場でメモしすぐに使う

以上のことを実施し、単語力や言い回しの幅が広がったことで今までよりもナチュラルなコミュニケーションが取れるようになったと思います。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

2 点あり、1 つはコミュニケーション文化です。

働いていたお店の雰囲気が開放的であったことありますが、お客様もお店に入ると同時に笑顔で挨拶してくれ、レジでのスモールトークも素敵なお話をしてくれる方が多くお互い良い 1 日になるようなコミュニケーションがあり、とても素敵な文化だなと感じました。

もう 1 つは、ボランティア精神です。

先にも述べた通り、この salvation army では多くの方がボランティアで来ていました。

このボランティアの方は退職された方や普段他でお仕事をされている会社員の方、大学生、高校生など様々でした。

私は特に学生の方たちの参加に驚きました。私は時間があれば少しでもバイトの時間を増やしてお金を稼ぎたいと思っていたので、オーストラリアの学生の方たちのボランティア精神の意識の高さにはとても驚かされました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の留学生活を通じて、将来海外に住んで働きたいという意志が強くなりました。

自分の部屋を出た瞬間から、英語という他の言語が話されていたり、自分とは違う人種の人がいったり、

どんな出会いがあるか分からない、そんな日本では味わいにくいドキドキがあり、留学期間中とても生き生きしていたと思います。

また、様々なトラブルに直面することがありましたが、自分なりに行動し解決したり、と考える機会も多く、主体性をはじめ問題解決力などの力が培われたと思います。

私にとって海外特にオーストラリアの環境はとても刺激的であったことからこの思いが強くなったのだと思います。

私はすでに就職が決まっているため、いずれはオーストラリア駐在を果たせるよう必要となる知識をつけ、夢を叶えたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	オーストラリア海外キャリア実習
-----	-----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	8000 円	お昼は基本自炊、外食はほぼ無し
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	5000 円	例:お土産
合計	53000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 空港で出国日に両替しました。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカードでの決済が主流となっていました。現金で買うよりも手数料がかかる場合が多かったです。支払いの際は、現金とクレジットカード支払いの金額の違いについて質問する方がよいと思います。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 eSIM を使用。だが、接続に手間がかかるため携帯会社のプランなどを使用する方がよいと思います。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 準備しておけばよかったもの ボディタオル(体を洗う際のボディタオルがどこにも売っていないため日本で使用している人は必要です。) 予備の充電ケーブル(断線してしまい、購入したのですが不良品であったため買い直しました。円安なので結構な出費でした。) 予備の下着類、靴下(天日干しの家庭だったため雨続きの時には洗濯ができませんでした。そのため、不足分を現地で調達しました。) 準備してきて助かったもの サンドル(靴を脱がない家庭だったため、家にいる間は裸足にサンダルを履いていました。)

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり(問題の内容や相談した人等: 研修の相談窓口) 特記事項: 観光地でのセクハラ被害
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ リュックを常に前掛けで使用し、スマートフォンは肩掛けのものを使用してスリ対策をしていました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 日中は問題なく使えていましたが、午後になると接続が悪くなりました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
他人と生活するストレスは大きかったです。私のホストマザーはコロンビア出身の方でした。毎晩大声で電話したり、観光地では人目を気にせずに写真を撮ったりする方でした。自分は落ち着いた性格であるため、最初の頃は本当にきつかったです。しかし、次第に慣れますし、他の国の文化を受容できる柔軟な思考が得られます。また、食事に関して自分の好き嫌いははっきりと伝えた方が良かったです。私はホストマザーに質問されるよりも先に自分の食の好み(食べ物、味付けなど)を細かく伝えました。自分の苦手なものが出てきた際には、あまり好きではないと伝えていましたそうすることで食事に対するストレスは全くなかったです。	

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
理由は 2 点ありました。1つ目はオーストラリアに行ってみたいと思っていたことです。コアラやカンガルーを見たいという単純な考えでした。2 つ目は、職業体験ができるということです。自分は語学学習目的の留学はあまり興味がなかったのですが、海外と日本の働き方の違いに興味を持っていました。日本では絶対に体験できない、海外勤務は非常に魅力的でした。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
海外と日本の違いを肌で感じ、学びを得ることです。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
接客、イベント会社

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
イベント会社
2) 主要な実習内容を記載してください。
クライアントへのメール返信、資料作成などデスクワークが中心でした。イベントがある日は会場準備の手伝いなどをしていました。
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
日本と海外の働き方の違いは主に、服装と時間だと思いました。私の勤務先の方々の服装は私服でした。勤務時間は私以外の社員は特に決まっておらず、仕事が終わったら帰るというものでした。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
悪かった点は全くないです。働く上での積極性の大切さや仕事に対する考え方など多くの事を学ばせていただくことができました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
プログラム参加前は、自分は将来海外で働きたいという漠然とした夢を持っていました。プログラムに参加したことで、自分は海外で働きたいというよりも活気ある職場で積極的に働きたいということに気が付きました。実際に働くことで得られた発見だと思うので自分にとってとても大きな成果だと思います。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC700点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

オンライン英会話や英語字幕で洋画を見たりしました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

自分から話しかけることを心がけていました。自分から話しかけることで、ホームステイ先の方とも仲良くなれますし何よりも楽しいです。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

オーストラリアが多文化の国であるからなのか、スーパーマーケットにいろいろな国の食べ物が売られていました。加工品だけでなく、材料(異なる種類の米、香辛料など)が多種多様で日本との違いを感じました。また、運動している人が多いように感じました。ビーチで平日の早朝からランニングをしている人や、街中でもサイクリングやランニングをしている人を良く見かけました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、今回の研修参加が決定してから自分を追い込みすぎるほど英語の勉強をしていました。出国前も自分の英語力に不安を抱いていました。実際現地でも最初のころは、ホストマザーや上司に伝えたいことが伝えられないもどかしさや、言われていることがわからないこともあり落ち込むこともありました。落ち込んでばかりはいられないと思い勇気を出して些細なことでも自分から話しかけるようにしました。言われていることがわからなかったら何度も聞き返していましたが、上司の方は私がわかるまで丁寧に教えてくれました。英語が十分でない自分だったからこそ、働くうえで大切なことは英語力よりも積極的な姿勢であると気づくことができました。その経験で得た学びは今後自分が社会に出て働くうえで重要であることだと思います。貴重な経験をさせていただいたことに心から感謝します。ありがとうございました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)2024 年夏季
-----	---------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55932 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	約1万 円	(研修先まで 40分)曜日により値段が異なる
教養娯楽費	43901 円	
被服費	8554 円	
雑費	0 円	
その他	6428 円	例:交通費
合計	124815 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 出発前に換金 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください Visa
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 Holafly 32日分 8170円
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか リュック

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 大学の友人) 特記事項: ホームステイ中とても日本が恋しくなってしまう、夜 LINE 通話にて会話をして気が楽になった。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ ホストファミリーに都市部に出かけるときの注意点を教えてもらい、また行く前に既に母から注意点を教わっていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 都市部は外でも問題なく電波は繋がるが、ホストファミリー宅では Wi-Fi に繋がっていても処理速度は遅かった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーとの友好度関係なく放任主義なホストファミリーもいるため、休日等は自分で行きたい場所やイベントを調べて積極的に行動すると充実した留学を送れると思います。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

自分の英語力を試す為と、もともと在学中に留学へ行ってみたかったから。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

参加前より英語力を上げ、また外資系企業で求められるような積極的な人材に近づきたい。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

カフェ、アパレル店員。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

会社員の方をメインターゲットとしたオフィス街にあるカフェレストラン。

2) 主要な実習内容を記載してください。

お客さんと会話をし、注文された商品を作り提供する。またお店のオープン・締め作業を手伝う。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

業務内容は日本とほぼ変わらないが、常連さんが来た時に会話をとてもする為、料理を作ってる最中も会話を聞き逃さないように気を付けなければならない。

海外の店員さんは仕事に対してとてもポジティブで、何か業務を振り分けた時に“Enjoy!”など言ってくれる。また仕事でも職員同士がとてもフランクで距離が近く、とても仕事しやすかった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良い点

店員同士の距離がとても近いのでフレンドリーで仕事しやすかった。

悪い点

英会話と調理作業の同時作業がとても大変だった。

OKCさんとうまく連絡が取れず、結果的に大きな誤解が生まれてしまった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

基本メニューに関してはお客さんから注文を受けるところから提供まで一通りできるようになった。

スタッフの方にオーストラリアで仕事に困ったらうちにおいでと言われた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

英検2級2223点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

受験期に使っていた英単語・熟語帳と、TOEIC 用の単語帳を用いて勉強を行っていた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

滞在中は移動時間に音楽を聴く時なるべく洋楽を聞いて、なるべく日本語と触れる時間を減らした。
お店がすいていてスタッフも手が空いているときなどに、積極的に話しかけ英語で会話する機会を作っていた。
休日の出かけ先で、スマホで調べず、現地の人の道を聞いたりして会話の機会を作っていた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

- ・仕事に対してとてもポジティブ
- ・上司関係なく全員距離が近い
- ・営業時間や就業時間が詳しく定められておらず、その日ごとに営業時間が伝えられたり、多少の遅刻や早く来たりしても関係なく扱われる

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は「Bowl and Beans Eatery」というカフェで一か月間インターンを経験してきました。インターン内容としてはお客さんから注文受け、オーダーの入った商品を調理し、提供する。また開店前の仕込み作業や閉店後の締め作業などを行いました。勤務中はスタッフとほぼ常時会話をしながら調理等を行います。

今回のインターンで一番驚いたのは日本と海外の仕事に対する価値観の違いです。彼らは仕事に対してとても肯定的に考えていて、業務中みんな楽しく会話をしていて日本とはかなり違う印象を受けました。そのため、私も勤務期間中仕事に対してとても肯定的に感じられ、4 週間勤務することにそれほど苦を感じませんでした。勤務中は周りのスタッフもお客さんも優しく対応、会話をしてくれてとても嬉しく思いました。

一方留学期間中残念に感じたのは一部白人によるアジア人への偏見を身をもって体験したことです。具体的には町中やビーチなどで道を尋ねようとしても目が合っても尚無視してきたり、バスで自分の隣の席が空いているのにも関わらず誰も座ろうとせず立ってたりします。確かに「自意識過剰では？」と言われれば自身を持つては否定できませんが、少なからず私は彼らからの抵抗感を感じたと思っています。実際、その体験をインターン先で親しくしてくれたスタッフに言うと、都市部では特に一部の方は残念ながら冷ややかな対応をする方が一定数居て、それはアジア人ではなくとも感じるという、特に白人の方に多くそのような対応をする方が多いと言われました。差別が少ないとされている日本に住んでいたからこそ、今回の経験を通じて現地のリアルな対応をされて、少し悲しい気持ちになりました。

最後に、今回の留学を通じて私が後輩や同級生に勧めるとするならば、海外の友達を作って現地の大学の雰囲気味わいたいならば間違いなく海外の大学に留学することをお勧めします。一方楽しい経験より自分自身を更なる英語力の向上、ネイティブスピードの会話力、また海外インターンの実績を積みたいのならばこの海外インターンをお勧めできます。やはり他国で大学の留学に行っている友人の話聞く限り圧倒的にエンタメの面での楽しさは海外大学に行く方が勝るのは確かです。それでも確かな英語力の向上を獲得したいなら海外インターンは良い経験だと私は思いました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(オーストラリア)
-----	-------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	150000 円	
図書費・学用品費	10000 円	
携帯・インターネット費	8800 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 90 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	0 円	
雑費	3000 円	
その他	60000 円	例:お土産
合計	271800 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 空港で両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカードがメインではありますが、サーチャージ料がかかることや現金支払いでの割引もあったので、現金もあるといいと思いました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 eSIM を使いました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 気温調節の効く上着

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 通知システムに登録と、ニュースの確認
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 ホストファミリーに Wi-Fi を貸していただいたのでそこまで問題はなし。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

今年に関してはそこまで深刻ではなかったらしく、制限はありませんでしたが、オーストラリアは気候によって水不足になることもあるので、注意が必要らしいです。(ホストファミリー談)

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外で英語力を伸ばしたいと思ったことと、留学という形ではなく、インターンという形で英語を利用しながら、実際に現地での生活を感じたいと思って申し込みました。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

英語力の向上や実践の場面での活発な英語の利用。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

環境保護

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

環境保護

2) 主要な実習内容を記載してください。

除草作業、植林作業、動物を含む自然に関する学習

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

大きく違いはありませんでしたが、公園という存在が現地では、より身近で崖のようなところも多くありました。公園での緑化活動という考えとしては、日本のものとは、少し違うような気がしました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

ホストファミリー宅から活動場所までが遠く、乗り換えも多かったことから、なかなか行き帰りが複雑であったこと。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

参加者の方々とコミュニケーションをよくとることができ、様々な国の文化に触れる事ができました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

英検準一級

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英語のニュースを見たり、英語のネット記事を読んだりして積極的に英語に触れた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

なるべく、現地の人と時間を共にできるように、部屋にこもることや活動後すぐに帰るということを選んだ。又、休みの日や空き時間に観光したところ、お昼ご飯として食べたものの写真を撮っておくと会話のきっかけになった。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

帰宅時に一度電車が線路に人立ち入りのために停まってしまったことがありました。日本と違って電光掲示板に反映がなく、幾つもの電車が一分後に電車が来るということを掲げた状況になってしまっていました。ホームへの放送も、複数人がホームでマイクを使って行っているようで、なんとなく聞き取りにくくて焦りました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語力を試す場として、短期での海外実習を選択するということは、かなり良い経験になったと感じました。積極的に話しかけたり質問をしたりすることによって、会話をする機会を自分から増やすことが出来れば、成長に近付けたと思いました。オーストラリアは、特にバックグラウンドが多様な方が集っている場であるので、異文化理解に関して日常的に体感したり、経験したりすることができる場であると思います。また、そのことから、母語が英語でない英語話者と会話することになります。聞き取りにくいということはもちろん、英語が母語ではない人達どうしの会話になることから、伝えたいことをいかに伝えることができるのかという力を鍛えることができる貴重な場になったと感じています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習 オーストラリア
-----	------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	33500 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9000 円	eSIM
現地通学費	0 円	(研修先まで40～50分) ホストマザーとインターン先の担当者が同じだったため、車に乗せてもらった。
教養娯楽費	7800 円	映画、動物園
被服費	13900 円	夜が思ったより寒かったので、スウェットを買った。自分の服、靴
雑費	5900 円	ホームステイ先へのお土産、花粉症の薬
その他	30020 円	交通費、日本へのお土産、観光
合計	100120 円	1 オーストラリアドル＝100円計算

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 羽田空港で1万円を両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
Apple Pay
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM 繋げるのが簡単だった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
助かったもの: 延長コード、小さめのバッグ、洗濯ばさみ、ファブリーズ あったらよかったもの: スウェット、花粉症の薬

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省からのメール
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
街に出たら通信に困ることはなかったが、ホームステイ先は電波が繋がりにくかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ある程度のことは自分ですと考えていたら良いと思う。私が滞在したホームステイ先では食事以外は全て自分だった。	

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
英語のインプットは大学でたくさん行っていたので、アウトプットできる機会を増やしたかったため。 また、英語しかない環境に少ない時間でも身を置きたかった。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
何にも臆さない積極性、誰とでも話せるコミュニケーション能力、ミスを気にし過ぎない気概、分からないことを分からないままにしない勇気、何事にも応用できる経験、質問能力を身に付ける。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
日本語教師アシスタント、ウェディング、イベント、現地旅行会社、クルーズ会社

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
日本語教師アシスタント
2) 主要な実習内容を記載してください。
授業、授業アシスタント、授業の事前準備、ライティングの添削
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
日本より学校自体がフランクだった。 日本でいう中学2年生と高校1年生を教えたが、部活がなく、日本の大学生に近かった。 日本では教師はブラックな職業というイメージがあるが、オーストラリアでは定時に帰る人が多く、何週間に一日平日が休みになる日もあるようだった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
良かった点: 日本好きの学生と多く出会えて、日本の話をたくさん聞けて嬉しかった。 大変だった点: 英語で日本語を教えることは、当たり前に使っている日本語を、私たちが英語を学ぶように文法や語彙に分けたり、普段気にしないところに疑問を持たれたりするので、説明が非常に難しかった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
自分の英語能力には改善の余地しかないと感じていたが、参加したことで特に何が足りないのかははっきりした。 また、参加前は自分の将来についてのビジョンが全然見えていなかったけれど、やってみたいことやあと2年間でしておくべきものの目処が立ったので、実践できるように頑張りたいと感じた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEFL 60

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英単語の復習、毎日英語に触れる

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英語で何と云うか分からないものを質問した。

ホストマザーが日本語教師だったので、逆にある英語を日本語だと何と云うか質問された。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地の高校は日本と全く異なり、まず時間にルーズだと感じた。1,2 時間目、3,4 時間目、5,6 時間目の間に休み時間がなく、授業終了のベルと次の授業の始まりのベルが一緒だった。大学のように、授業ごとに学生が教室を移動していたので、きっちり 50 分とっていた授業は一つもなかった。

また、校則も緩く、ピアスは開いていない生徒のほうが少なかったり、髪の毛や化粧も自由だった。

先生が生徒にお菓子やご飯をあげたりもしていた。ある先生はご褒美に、ある先生は授業のやる気を出させるためにお菓子をあげていた。

退勤時間の数分前になると、帰宅する準備を始め、退勤時間になったらすぐに帰る先生もいた。

部活動もなかったのも、日本と違い、先生の労働環境は良いものだと感じた。2 週間に1日、授業がないこともあった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

まず、このプログラムに参加して良かったと思う。1 か月海外の同じ場所に留まりながら、週5日で働くという経験は全員が全員でできる経験ではない。ホームステイとは言っても、受け入れてくれるホストファミリーに任せっきりとはいかないので、食事以外は自分でやらなければならない生活は、実家暮らしで普段親にやってもらっている私からしたら、自立の面でも成長できた。

また、日本では教育自習以外で大学生が学校に1 か月職業体験する経験すらあまり積めないと思う。それをオーストラリアで、しかも英語で日本語教師をできたことは非常に貴重な経験である。将来日本語教師にならなかったとしても、この経験を活かすも殺すも自分次第であると思うので、これからも精進していきたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習 オーストラリア
-----	------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約1万 円	休日の外食費、平日の昼食費等
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約1万 円	
現地通学費	約2万 円	(研修先まで 電車のみ片道30～40分)
教養娯楽費	約8～9万 円	
被服費	約1万 円	
雑費	約5000 円	
その他	0 円	例:
合計	約15万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本にて両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードの支払いがほとんどでした。
2枚持って行った方が安心だと思います。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-Sim を事前に日本で申請して使いました。なくす心配や持ち運ぶ不便さがなかったためよかったと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ、水筒、エコバックは持っていきましたが助かりました。ドライヤーを持っていきましたが用意していただいていたので使わなかった
ので行く前に確認したほうが良かったかなと思います。行った1週間は朝晩がかなり寒かったのでマフラー手袋があってもよかったかなと思います。ライトダウンなどを持ってきている友達が多かったのですが寒さ対策はあるに越したことはないのので持っていく方がいいと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに土日に行く場所などを伝えて危険か何時に帰ったほうがいいのかなどを聞いて対策しました。また貴重品は常に身に付け鞄は斜めに掛けて自分が見えるような位置でかけました。
実際に犯罪に巻き込まれるなどはなかったです。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
人が多いところなどはたまに接続は悪くなりましたが大きな問題は特に問題なかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☐ バス	☐ トイレ	☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)		
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
アジア圏出身の方でご飯も日本に近い感じでとても助かりました。ホストマザーと猫がいるお家に滞在させていただきましたが私の話をやさしく聞いてくださりんびりして過ごすような生活だったように感じます。いろんな出身の方文化の方がいらっしやるのでどの家庭になったとしてもホストファミリーとよくコミュニケーションを取ることが大事だと思います。ハウスルールは渡航前にメールで確認しておくのもいいかと思います。慣れない環境で慣れない文化ご飯で不安な気持ちになるかもしれませんがすべていい経験だと思います。いやなことははっきりと伝えてよくコミュニケーションを取るようにした方がいいと思います！				

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
元々オーストラリアに留学に行きたいと考えていて、その前にどのような感じかを見たいということと、夏休みの時間を無駄にしたいと思ひ探していたところこのプログラムを見つけ、学校に行って英語を勉強するなどは異なり仕事をするという点が魅力的に感じ、自分自身の大きな成長のために申し込みました。	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
英語をしゃべる際に自信をもって自分の意見を言うことや他人の目を気にせずに自立して生活することなどを目標にして参加しました。また、語学留学ではないため自分の今の英語がどのくらい通じるかを期待して、英語を使う環境に慣れる、耳を慣らすことも目標にしました。	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
日本で行っているバイトなどとは全く異なる経験のしたことがない、することがこれからはないようなことに挑戦したいと思ひ、第一希望を服飾系にしてほかはカフェやウェディングにも興味があったため希望を出しました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
韓国系の洋服屋さんで実習を行いました。	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
主に接客、洋服の品出しや片づけ、お客様がいないときはオンラインショップのアップデートやインスタグラムなどその他 SNS の更新などを行いました。	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
服装がかっちりしていると思ひ用意しましたが割と緩かったです。 英語だけでなく中国語にも翻訳して SNS 等にアップデートするという点で少しイメージとは異なりましたがいい経験になりました。 接客においては、Hello how are you?までがセットでこちらからフランクに挨拶したりたまにお客様の方からおっしゃったりすることが異なるなと感じました。 また、洋服を提案した際にお客様の好みにあっていなかったらきっぱり no や I don't like などとおっしゃっていて自分の意思をはっきり伝えるという点で日本での買い物様子と異なるなと感じました。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
良かった点は、ボスや同僚の子が優しく気さくだったため楽しくトラブルなく実習させていただいたことや、きっちりした決まり(服装など)がなかったため割と自由に勤務させていただけた点です。また、お客様も優しい方が多かったため英語があまりうまくいかなくてもくみ取ってくださったりなど様々な面で助けていただきました。 一方でお店が中華街のようなところの近くにあったため中国人の方が多く、中国語しか話せないお客様もいらっしやったため英語より中国語で話す方が多い日もありました。(第二外国語などでとっていたため中国語が少し話せました) ただ英語を自分から使おうとする機会は多くあると思うのでそんなに不便ではないと思ひます。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
中国人の方が来た際ボスに代わり対応を任せられたりなどおおむね接客は問題なかったと思ひます。 オンラインショップ、SNS 等の更新はお客様がいない際は基本的に行っていたのでできる限りのことはできたのではないかとと思ひます。	

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

申し込み時 TOEFL66、準一級

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

オンライン英会話を少しだけ行っていました。

夏休み前までは学部授業で英語に毎日触れていたりと、今後の留学のために TOEFL の勉強を行っていたりしました。夏休みに入ってからバイトや準備等であまりできなかったのもう少し英語の使える表現やリスニングをしたほうがよかったと思います。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

実習先でもホームステイでも小さいことでも英語で自分からしゃべりかけるとことを心がけていました。

ホームステイ先では平日朝の仕事に行く前は準備等であまりコミュニケーションをとる時間がなかったため、仕事後はすぐ帰ってご飯を食べその間にはよくコミュニケーションを取るようにしました。夕食後なるべくリビングにいて話せる時間を作ろうと工夫しました。話のスピードにも慣れてスピーキングの速さも少し上がったと感じます。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

外出して歩いている際、向かい側から来た全然知らない人がにこっと微笑んでくれたり Hello, Good morning など挨拶を交わすこともあったのですがフレンドリーさが印象に残りました。

また、洋服屋さんで働かせていただいていたのですが、洋服をお客様に進めた際好きではないものだとはっきりきらい、この色がいやだなどはっきり yes no を言われたことが多々ありました。日本とは異なりはっきり自分の意思を伝えることが大事とされている印象でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オーストラリアは気候も過ごしやすく、ほかの国に比べても治安が良い方で、とにかく優しいあたたかい方が多いです。この期間を通して自分の中で大きな経験になり、英語の面でも生活の面でも自分自身成長できたと感じています。

正直ホームステイなどで不安があり申し込みをするか直前まで悩んでいましたが今ではこのプログラムに参加して本当によかったと言えます！

オーストラリアに興味がある方や、海外で仕事をしてみたいと思っている方など少しでも挑戦してみたいという気持ちがある方はぜひ挑戦するべきだと思います！必ずなにか小さなことでも経験になるし視野が広がるのではないかと思います。

長期休暇という期間でとてもいい機会だと思うのでチャンスを逃すことなく、いろんなことにチャレンジしたりして有意義な期間になることを願っています！！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習（オーストラリア）
-----	-------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	26,495 円	勤務先のカフェではお昼を無料で作っていただいていたので、この金額はおもに土日出かけていた時の昼食やディナーの費用です。
図書費・学用品費	0 円	特にマストで買うものではありませんでした。何か英文を読みたい時や勉強したい時は最寄り(か最寄りの近くの)図書館を使うのがおすすめです。
携帯・インターネット費	9,778 円	エージェントに紹介された e-sim を利用しました。
現地通学費	20,000 円	(研修先まで 45 分)
教養娯楽費	0 円	オーストラリア博物館はお金がかかりませんでした。
被服費	0 円	
雑費	16,767 円	お土産
その他	47,539 円	例: 飲料やブルーマウンテン等の観光費用
合計	122,574 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 新宿のワールドカレンシーショップにて約二万円換金しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
オーストラリアでは支払いが主にカードであり、カードでしか支払えない場合も少なくないので換金は少なめでも大丈夫です。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
このキャリア実習でおすすめされた e-sim を購入しました。Sim カードか e-sim がないとインターネット接続ができないので慎重に行いましょう！
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
持って行ってよかったものは腹巻きです。朝晩は長袖に羽織、ウルトラライトダウンを着ないと寒いくらいだったので、冷え性の人は腹巻きでおなかを守りましょう。準備したほうが良いものは水筒です。向こうは500ml の水が 3-4 ドルかかるので、家の水道水を水筒に入れるか2L くらいの大きなペットボトル(これは 1 ドルくらい)を買って水筒に詰め替えると節約できます。また、日本の学生証でもたまに学生料金として大人料金よりも安く入館できることがあるので持っていくのもありかとおもいますが、個人情報なのでなくさないよう気を付けてください！

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
たびレジ登録と、ホストマザーに教えてもらった危険な場所にはいかにようにし、夜 10 時までには家に着くように心がけました(私が住んでいた地域は安全な地域ではあったものの、帰り道が暗すぎたり酔っ払いがいたりしたので皆さんも気を付けてください)。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
日本に電話をかけようとすると、国際通話識別番号をつけるなど複雑なので出国前によく確認しておくことで後で楽になります。私は最初の三日間は e-sim がつながっていない状態で苦労したので、こちらも事前に調べておきましょう！

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☐ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可) ※浴室は自分専用のところを設けていただいていた				
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
滞在させていただく分、多少疲れていても皿洗いやごはん前の食器の用意は手伝いましょう！また、お世話になったぶん最終日にはプレゼントを贈ったり日本食をふるまったり感謝を伝える行動ができるとファミリーも自分もハッピーです！				

プログラムについて	
プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	就活が本格的に始まる前に海外で働いた経験があれば自信につながるだろうと思ったことと、ただ現地の大学に行くよりも実用的な英会話を学べる点で申し込みました。また、オーストラリアの多民族性にひかれたことも理由の一つです。
2)参加するにあたっての目標はありますか。	分からないことをわかるまで聞くことや、手伝えることはないか聞くなどして積極的に活動すること。 インターン先ではすぐにメモを取ってたくさんの業務を請け負わせてもらえるように努力すること
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	接客系であれば多くの人と話す機会を設けられるのではないかと考え、そちらを希望しました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	カフェ
2) 主要な実習内容を記載してください。	・オーダーをとる ・注文の品をウェイターとして持っていく ・バリスタとシェフの補佐 ・テーブルのセット ・水やメニュー、ベビーチェア、持ち帰り容器などの気配り ・皿洗い ・レシートの分別 ・掃除全般 ・テイクアウト用の箱作り
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	私は「海外では日本より勤務態度がルーズである」という印象を抱いていましたが、実際は全く違い、ホスピタリティが重要視されていました。私の勤務したカフェでは、お客さんとハグし、ちょっとした会話をしながら食事・コーヒーを提供していたので、日本よりもフレンドリーにお客様と接していました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	大変だった点は、カフェではお客様の滞在時間が様々であるため新たにきてくださったお客様やすでに帰られたお客様のテーブルの掃除が遅れてしまったことです。また、就業させていただいたカフェのフレンドリーさにいきなり順応することも殻を破るのに難しく感じました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	カフェでお会いしたお客様の方々は非常に多国籍で、最初はうまくなじめなくてお客様への挨拶も緊張した顔のまましてしまったのですが、オーナーにアドバイスをいただいたりメニューを覚えたりしたことお客様に信頼していただけました。3-4週目ではほぼ毎日お客様から激励やお褒めの言葉をいただき、今でも頂いた言葉が私の強いモチベーションとなっています。



英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

英検準一級
TOEFL65

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

Instagramでオージーイングリッシュの単語クイズの投稿や海外での接客英語をYouTubeで見ることで、楽しめる範囲で単語やセンテンスを学んでいました。また、大学受験で使っていた単語帳を見直しました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

主にファミリーやパリスタのスラングを、時々土日に外食したときに店員さんの言葉遣いを書き留めて自分も真似して言っていました。また、時々図書館で本を借り、単語を調べていました。息抜きのyoutubeでも海外のおもしろおかしい動画を見て元気をもらっていました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

異性でも気にせずハグやキスをしていたのが衝撃的でした。また、私の就業先のカフェでは従業員同士が“Hi, Love.”や“Love, can I ask you a favor?”と従業員全員がラブと呼び合っていたことも印象に残りました。日本では～さんと呼んでくださるので誰を呼んでいるのか顔を見ないと判断できませんでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この留学を通し、たくさんの人と巡り合うことができました。私は、この留学に来ていなければ出会わなかったであろう就業先のスタッフの方やホストファミリーはもちろん、一緒にこの留学プランに参加した明治の学生との出会いもかけがえのないものだと感じています。私は中野キャンパス所属だったので、他のキャンパスの子とあまり関わりを持っていませんでしたが、この留学を通して学部や年齢を超えて関わりあうことが出来ました。それだけでなく、カフェでよく話しかけてくださったお客様やバスの行先を尋ねたところ丁寧に教えてくださったバスの運転手、最寄り駅からステイ先への道で迷ったときにご丁寧にステイ先まで連れていってくださったご夫婦など、これから参加される皆さんはこのような数えきれない経験をすると思います。どうか一期一会の出会いを大切に、人との出会いを楽しんでください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習（オーストラリア）
-----	-------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8000 円	
現地通学費	25000 円	(研修先まで 60 分) 電車
教養娯楽費	90000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	153000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で 2 万円分両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードで全ての場所で決済できた。現金は友人と割り勘する時以外は必要ないと感じた。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
事前に日本で eSIM を購入。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
乾燥しているので、ハンドクリームやリップクリームなど。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに聞いた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホームステイ先などの郊外では通信が悪い時もあった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
中華系インドネシア人の家庭で、夕食では米なども用意されていて食事や生活には満足できる環境であった。洗濯は週に一回、シャワーの時間に制限はなかった。家庭によって異なるのでハウスルールなどは初日にしっかり確認すると良いと思う。最寄駅まで徒歩 30 分の距離であり、遅い時間は暗い夜道を歩く必要があるため少し不安であった。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
短期間で英語をアウトプットする機会の多いインターンシップのプログラムに魅力を感じた。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
英語力の向上に加えて、オーストラリアの多文化社会の中で多様な価値観や考え方に触れ、グローバルな視野の向上に努める。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
現地カフェ、ホテルなどのホスピタリティ業界。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
現地カフェ
2) 主要な実習内容を記載してください。
レジでの接客・会計とドリンクの作成・提供がメインの業務であり、客席への料理の提供なども行った。時間のある時は、店内の清掃や補充作業などの業務も行った。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
日本のカフェでアルバイトをしているが、仕事内容などには大きな違いはなかった。一方、お客様の求めるサービスは異なると感じた。日本では丁寧さが求められることが多いが、オーストラリアではフレンドリーさやラフな雰囲気が現地のカフェ文化であると感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
カフェでの接客は会話をする機会が多く、リスニング・スピーキング力を鍛えるのに良い環境だと感じた。また、日本でバリスタのアルバイト経験があったため、幅広い業務を挑戦させてくれた。 家族経営のカフェで、オーナーの母親の韓国人と働く上での価値観が異なることが多くあり、多文化社会で働くことの難しさを実感した。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
このプログラムを通じて、特に英語のリスニング力が向上したと感じる。ネイティブスピーカーの英語を多く聞く機会があったが、それ以上に母語が英語ではない人々が話す、少しアクセントのある英語を聞き取る力が特に鍛えられた。日本のように「察する」文化がないため、疑問に思ったことや自分の希望を積極的に伝えることに慣れ、ためらいなく自分から話しかけることへの抵抗が薄れた。

英語力／コミュニケーションについて
1)申込時の英語スコアを記載してください。
TOEIC750 点
2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

インターン先がカフェであったため、その業界で使える英語のフレーズや単語に加えて、オーストラリアのカフェ文化について事前に勉強した。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

研修全体を通して、わからないことや通じないことがあっても、決してわかったふりをせず、必ず理解できるまで聞き返したり質問することを心掛けていた。自分がやりたいことがあれば、それを素直に伝えるなど、自分の意思をしっかりと表現することが大切だと感じた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

様々な場面で日本とは時間の感覚が異なると感じた。働く時間の直前に職場に到着するが、退勤する時間になると即座に帰宅する人がいたり、公共交通機関は予定時刻に大幅に遅れることや、早く出発することもあったが、それが当たり前のように多くの人が受け入れていた。伸び伸びとした生活を送っていて、各々の個性をはっきりと表現している人が多く、非常に素敵な場所だと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オーストラリアでの1ヶ月の短期留学は、非常に貴重な経験であった。現地カフェでのインターンシップでは、接客やコーヒー作成を通じて英語力を向上させ、オーストラリア特有のカジュアルな職場文化に触れることができた。また、中華系インドネシア人家庭でのホームステイでは、異文化理解の大切さを学んだ。この経験を通じて、異なる環境に適応する力とチームワークの重要性を深く実感した。柔軟な対応力や相手の立場を尊重する姿勢は、今後の学生生活や将来のキャリアにおいても大きな武器となるであろう。このプログラムは語学力向上だけでなく、自己成長や多様な視点の拡大の機会にもつながる。現地の文化や人々との交流を楽しみ、積極的に様々なことに挑戦してほしい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	オーストラリア海外キャリア実習
-----	-----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	51220 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9868 円	
現地通学費	19620 円	(研修先まで 80 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	12050 円	
雑費	45910 円	
その他	円	例:
合計	138668 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に両替所で用意した その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
VISA、Masterカードを用意しておいて、現地で支払方法に困るということはなかった。物価が高いためカードは二枚用意するか一枚の限度額を 20 万程度にすれば、大きな買い物をしない限り余裕をもって生活できると感じた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
プログラムのオリエンテーションの際に紹介された会社の eSIM を利用し、申し込みや接続方法も簡単で問題なく使用できた。インターネットに疎いのでとりあえずエージェントの紹介なら安全だろうと思い選択したが、同じ eSIM を使用した人の中に、接続時に読み込む QR コードが使えない等のトラブルに遭った人もいたので、事前によく調べればより安価で快適に使用できる通信手段があったかもしれないと思う。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウェットティッシュを 10 枚×3セット持参したが、外食など何かと手や衣類が汚れる瞬間があったので無駄な出費をせずに済み準備しておいてよかったと思う。また、コンタクトレンズや常備薬は多めに持参して損はなかった。慣れない環境では自分が実感しているより体はストレスを感じていたのか、普段より生理痛が重くなったり偏頭痛がひどくなったりしたので常備薬を箱ごと持参して助かった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
オリエンテーションで現地の治安について説明していただき、パンフレットも頂いたうえで、インターネットでシドニーに留学、ワーキングホリデー等で滞在した方のブログを参照した。実際にとった対策はポケットに貴重品を入れない、パスポートはパスポートケースに入れて首から下げ、服の中に入れる、人気のない道を夜にひとりで通らないといった海外旅行における基本的な防犯対策で、犯罪等に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
前述の eSIM を問題なく使用することができ、ショッピングモールやカフェには Wi-Fi があることが多かったので現地でのインターネットの利用は快適だった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
同じプログラムの参加者の話と自分の体験を踏まえて、留学生を受け入れている家庭のほとんどがビジネスとして何度も受け入れをしたことがあるので、慣れていて親切に交通機関や観光名所などについて教えてくれるところと、ビジネスと割り切って質素な食事に最低限のコミュニケーションとよそよそしいところがあり、正直滞在先の快適さは運なのだろうと思った。よほどの不自由を強いられただけの場合にはエージェントに相談すれば滞在期間の長さに関わらず滞在先の変更は検討してくれるので、自分で解決できないことはすぐに助けを求めて良いと思った。	

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外で一定期間生活するという体験を大学在学中にしてみたかったものの、海外に行きたくて学ばないことがあったわけではないので留学という選択肢をとることに躊躇していた。そこで偶然、今回参加した海外キャリア実習の募集を見つけ、海外での職業体験は将来のことを考える上でも良い経験になると思い申し込んだ。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
自分から積極的に動くことが目標だった。英語力にそれほど自信がなかったため滞在先、職業体験先でのコミュニケーションが不安材料だったが、分からないからといって受け流したり何もしないでいたりすることは相手の迷惑になり、自分の成長にもならないので聞くのは一時の恥と思い自分で役割を探る姿勢を保とうと思っていた。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
就職活動にあたって、好きなことを仕事にする具体的なイメージを持ちたいと思い第一希望は撮影スタジオにした。その次に、授業で世界の戦争や政治問題について学んだことがとても印象的だったので人道支援の業界を希望した。実際には後で職業体験をさせていただいた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) どのような業界で実習を行いましたか。
人道支援
2) 主要な実習内容を記載してください。
人道支援団体が経営するカフェで実習を行った。接客やキッチン業務、ゴミ捨てなどカフェの一般業務を体験した。
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
勤務時間が 14 時までとオリエンテーションで知ったときに、カフェが混雑するのは昼過ぎからというイメージがあったので不思議に思っていた。シドニーに到着してから多くのカフェは 14 時から 15 時の間に閉店することを知り日本との違いを感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
一緒に働く人が皆親切だったため分からないことを聞きやすい環境にいられたことが良かった。一方で、最初のできることが少ない時期に、混雑したり他のスタッフがミーティングに入ったりすると話しかけていいタイミングが分からず、立っているだけの時間ができたことがあり仕事を探すのが大変だった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
日本、海外に限らず言えることだが、周りの人とのコミュニケーションを大切にして主体的に行動することで自己成長の機会は生まれるということ、今回短期間だが海外に身を置いてみて実感できた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC725

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

移動時間に音楽サブスクリプションサービスで英語のポッドキャストを聞いたり、家で独り言を英語で話したりした。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

語彙力が足りないことに物おじせず積極的に話しかけた。また、聞き取れなかったときは何回も聞き返した。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

カフェが 14 時から 15 時の間に、ショッピングモールが木曜日を除いて 18 時ごろには閉店してしまうという点に驚いた。特にカフェについては昼過ぎ～夕方にも最も混雑するイメージがあったので、朝が混雑のピークで仕事前、学校前にコーヒーを一杯買っていく人が多かったことが印象的だった。また、接客が勿論優先されているものの、店員同士がプライベートな会話を店頭でしている姿をしばしば見かけて日本との違いを感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

海外に身を置いてみたいという願望があって、就活が本格化することも考えると 3 年生の夏休みが最後かと思い今回のプログラムに応募した。正直行く前は 1 か月という短期間で自分の中に変化をもたらせるだろうかと不安を抱いていたが、限られた時間だからこそ英語のアウトプットに意欲的になれたり、現地の文化を学ぶためにできるだけ多くの場所に足を運んだりとても濃密な 1 か月を過ごすことができてよかった。私は職業体験をメインの目的として語学の上達にはそれほど期待をしていなかったが、それまで持っていた「同じ英語を文章に書き起こすことはできても口に出せない」という感覚がホストファミリーや職場の方とのコミュニケーションを通じて薄くなったように感じ、語学留学としても 1 か月という期間は成果を出せるものだと思えた。

就活のことを考えるとこの機会が最後と前述したが、自分の学びたいこと、やりたいことに最も挑戦しやすいのは大学にいる 4 年間だと思うので、学年に関わらず留学に興味がありつつも一歩踏み出せないでいる人には是非挑戦してみしてほしいと思った。